

2 教科に関する調査結果



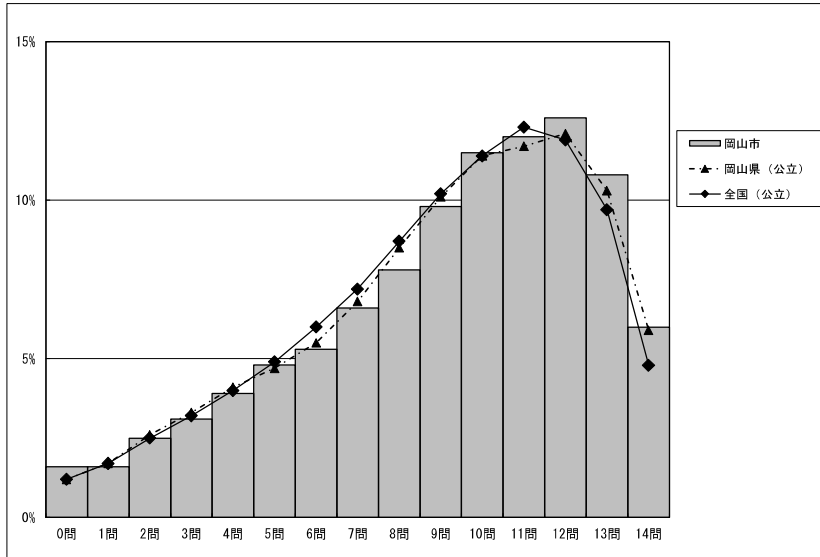
調査結果概況 [国語]

岡山市教育委員会一児童

以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を、児童を対象として集計した値である。

	児童数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
岡山市教育委員会	6,111	9.1 /14	65	10.0	3.5
岡山県 (公立)	16,270	9.0 /14	64	10.0	3.5
全国 (公立)	1,028,203	8.9 /14	63.8	10.0	3.4

正答数分布グラフ (横軸: 正答数, 縦軸: 割合)



正答数	正答数集計値			
	児童数	割合 (%)		
	岡山市	岡山市	岡山県 (公立)	全国 (公立)
14問	365	6.0	5.9	4.8
13問	663	10.8	10.3	9.7
△ 12問	773	12.6	12.1	11.9
11問	734	12.0	11.7	12.3
◇ 10問	704	11.5	11.4	11.4
9問	597	9.8	10.1	10.2
8問	474	7.8	8.5	8.7
▽ 7問	406	6.6	6.8	7.2
6問	325	5.3	5.5	6.0
5問	294	4.8	4.7	4.9
4問	241	3.9	4.1	4.0
3問	188	3.1	3.3	3.2
2問	155	2.5	2.6	2.5
1問	96	1.6	1.7	1.7
0問	96	1.6	1.2	1.2

※今回の調査での四分位は以下の通りでした。

	岡山市	岡山県 (公立)	全国 (公立)
△ 第3四分位	12.0問	12.0問	12.0問
◇ 第2四分位	10.0問	10.0問	10.0問
▽ 第1四分位	7.0問	7.0問	7.0問

【正答率が高い設問】

	設問番号	正答率	全国との差
○梅干し作りについて【知りたいこと】を調べるために、選んだ本の【目次の一部】から、読むページとして適切なものを選択する。	2二	89.2%	+0.7
○食べ物の保存についてまとめている【ノートの一部】の口に入る、疑問に思ったことの①に対する答えとして適切なものを選択する。	2一(1)	81.4%	+0.7
○量職人への【インタビューの様子】の口に入る、自分の理解が正しいかを確認する質問として適切なものを選択する。	3一	81.1%	-0.2

【正答率が低い設問と改善のポイント】

	設問番号	正答率	全国との差
◆公衆電話について調べたことを【報告する文章】の口に入、「2 調査の内容と結果」の(1)と(2)で分かったことをまとめて書く。 → 目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く。	1三	32.2%	+2.5
◆【インタビューの様子】の口に入、量職人の仕事への思いや考えに着目して心に残ったことを書く。 → 目的を明確にして情報を関係付けながら聞き、自分の考えをまとめる。	3三	65.3%	-2.9
◆公衆電話について調べたことを【報告する文章】の中の_____部アを、漢字を使って書き直す。(調査のたいしょう) → 同音異義語に注意してその意味を考えて使う習慣を付ける。【例: 調査の対象, 対称な図形】	1四(1)ア	40.0%	-1.9

・以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を集計した値である。

【偏差値】

平成30年度 A50 → 平成31年 51
平成30年度 B50
(令和2年度目標値51以上)

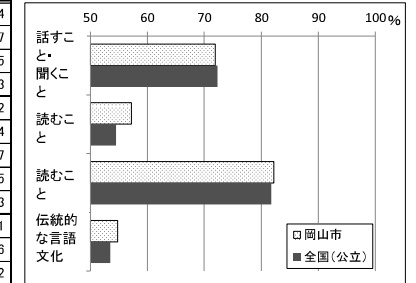
※岡山市教育振興基本計画における施策の成果指標

集計結果

対象児童数	岡山市教育委員会	全国（公立）
	6,111	1,028,203

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		市と国との 正答率の差
			岡山市	全国（公立）	
	全体	14	65	63.8	-5.0 ▼ +5.0
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	71.9	72.3	-0.4
	書くこと	3	57.2	54.5	2.7
	読むこと	3	82.2	81.7	0.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	5	54.8	53.5	1.3
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	3	57.8	57.6	0.2
	話す・聞く能力	3	71.9	72.3	-0.4
	書く能力	3	57.2	54.5	2.7
	読む能力	3	82.2	81.7	0.5
問題形式	言語についての知識・理解・技能	5	54.8	53.5	1.3
	選択式	7	76.2	75.1	1.1
	短答式	4	50.3	48.7	1.6
	記述式	3	57.8	57.6	0.2

<学習指導要領の領域等の平均正答率の状況>



問題別集計結果

※一つの問題が複数の区分に該当する場合があります。それぞれの区分について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合があります。

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式		正答率(%)		無解答率(%)		市と国との 正答率の差			
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	「活用」に関する問題	「知識」に関する問題	選択式	短答式	記述式		岡山市教育委員会	全国(公立)	
1一	公衆電話について調べたことを【報告する文章】で(資料2)と(資料3)をそれぞれのような目的で用いているか、適切なものを選択する	図表やグラフなどを用いた目的を捉える	5・6 エ																-5.0 ▼ +5.0	
1二	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の「(2) 公衆電話にはどのような使い方が特ちょうがあるのか」における書き方の工夫として適切なものを選択する	情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の仕方工夫を捉える	5・6 ウ																	
1三	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の□に、「2 調査の内容と結果」の(1)と(2)で分かったことをまとめて書く	目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く	5・6 ウ																	
1四(1)ア	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の中の□部アを、漢字を使って書き直す(調査のたいしよう)	学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使う		5・6 (1)ウ (ア)																
1四(1)イ	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の中の□部イを、漢字を使って書き直す(友達にかざらず)			5・6 (1)ウ (ア)																
1四(1)ウ	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の中の□部ウを、漢字を使って書き直す(かんしんをもってもらいたい)			5・6 (1)ウ (ア)																
1四(2)	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の□の1文を、接続語「そこで」を使って2文に分けて書き直す	文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く		3・4 (1)イ (ウ)																
2一(1)	食べ物の保存についてまとめている【ノートの一部】の□アに入る、疑問に思ったこと①に対する答えとして適切なものを選択する	目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む	5・6 ウ																	
2一(2)	食べ物の保存についてまとめている【ノートの一部】の□イに入る、疑問に思ったこと②に対する答えになるように考えて書く		5・6 ウ																	
2二	梅干し作りについて【知りたいこと】を調べるために、選んだ本の【目次の一部】から、読むページとして適切なものを選択する	目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読む	5・6 イ																	
3一	置職人への【インタビューの様子】の□アに入る、自分の理解が正しいかを確認する質問として適切なものを選択する	話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、自分の理解を確認するための質問をする	5・6 エ																	
3二	置職人への【インタビューの様子】の□の場面における、質問の工夫として適切なものを選択する	目的に応じて、質問を工夫する	5・6 エ																	
3三	【インタビューの様子】の□に、置職人の仕事への思いや考えに着目して心に残ったことを書く	話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる	5・6 エ																	
3四	ことわざの使い方の例として、【ノートの一部】の□に入る適切なものを選択する(習うより慣れよ)	ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる		3・4 (1)ア (イ)																

無解答率 6.0 6.2

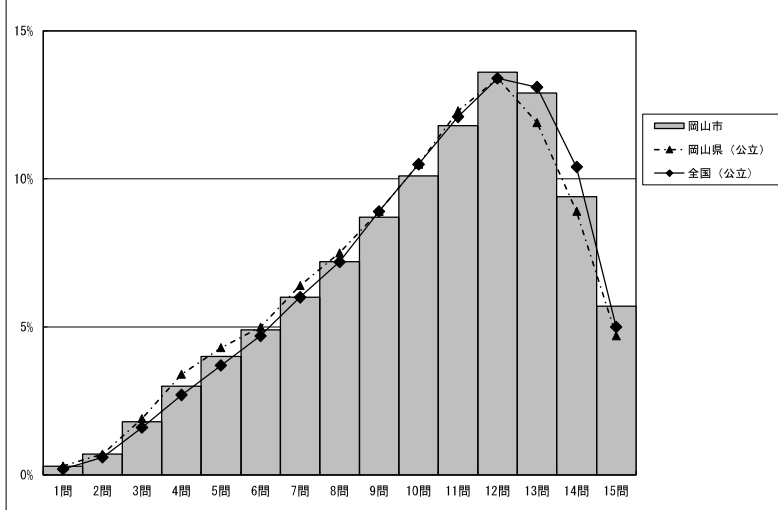
調査結果概況 [算数]

岡山市教育委員会一児童

以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を、児童を対象として集計した値である。

	児童数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
岡山市教育委員会	6,116	9.2 /14	66	10.0	3.2
岡山県 (公立)	16,276	9.1 /14	65	10.0	3.2
全国 (公立)	1,028,177	9.3 /14	66.6	10.0	3.1

正答数分布グラフ (横軸：正答数, 縦軸：割合)



正答数集計値				
正答数	児童数	割合 (%)		
		岡山市	岡山県 (公立)	全国 (公立)
14問	346	5.7	4.7	5.0
13問	574	9.4	8.9	10.4
△ 12問	790	12.9	11.9	13.1
11問	831	13.6	13.4	13.4
◇ 10問	721	11.8	12.3	12.1
9問	616	10.1	10.5	10.5
8問	530	8.7	8.9	8.9
▽ 7問	441	7.2	7.5	7.2
6問	366	6.0	6.4	6.0
5問	301	4.9	5.0	4.7
4問	247	4.0	4.3	3.7
3問	185	3.0	3.4	2.7
2問	110	1.8	1.9	1.6
1問	40	0.7	0.7	0.6
0問	18	0.3	0.3	0.2

※今回の調査での四分位は以下の通りでした。

	岡山市	岡山県 (公立)	全国 (公立)
△ 第3四分位	12.0問	12.0問	12.0問
◇ 第2四分位	10.0問	10.0問	10.0問
▽ 第1四分位	7.0問	7.0問	7.0問

【正答率が高い設問】

	設問番号	正答率	全国との差
○長方形を直線で切ってきた図形の中から、台形を選ぶ。	1(1)	93.3%	+0.2
○1980年から2010年までの、10年ごとの市全体の水の使用量について、棒グラフから読み取って書く。	2(1)	95.0%	-0.2
○だいたい何分後に乗り物券を買う順番がくるのかを知るために、調べる必要のある事柄を選ぶ。	4(1)	82.8%	+0.1

【正答率が低い設問と改善のポイント】

	設問番号	正答率	全国との差
◆2010年の市全体の水の使用量が、1980年の市全体の水の使用量の約何倍かを棒グラフから読み取って書く。 → 資料の特徴を関連付けて判断し、その判断の理由を説明できるようにする。	2(2)	76.4%	-2.2
◆減法の計算の仕方についてまとめたことを基に、除法の計算の仕方についてまとめると、どのようになるのかを書く。 → 計算を能率的にするため、計算に関して成り立つ性質を活用する。	3(2)	32.4%	+1.3
◆残り7ボール分進むのにかかる時間の求め方と答えを記述し、24分間以内にレジに着くことができるかどうかを判断する。 → 日常生活における問題の解決に、算数を活用できるようにする。	4(3)	61.3%	-1.3

・以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を集計した値である。

【偏差値】

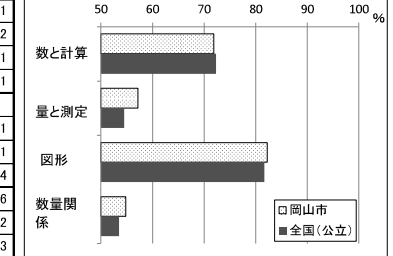
平成30年度 A49 → 平成31年 50
 平成30年度 B50
 (令和2年度目標値51以上)

集計結果

対象児童数	岡山市教育委員会	全国(公立)
	6,116	1,028,177

分類	区分	対象問題数(問)	平均正答率(%)		市と国との正答率の差
			岡山市	全国(公立)	
全体					
		14	66	66.6	-5.0 ▼ +5.0
学習指導要領の領域	数と計算	7	62.1	63.2	-1.1
	量と測定	3	52.7	52.9	-0.2
	図形	2	76.8	76.7	0.1
	数量関係	7	67.2	68.3	-1.1
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0			
	数学的な考え方	8	62.1	62.2	-0.1
	数量や図形についての技能	4	72.5	73.6	-1.1
	数量や図形についての知識・理解	2	68.7	70.1	-1.4
問題形式	選択式	5	75.1	75.7	-0.6
	短答式	5	71.6	72.8	-1.2
	記述式	4	47.7	47.4	0.3

＜学習指導要領の領域の平均正答率の状況＞



問題別集計結果

※一つの問題が複数の区分に該当する場合があります。それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合があります。

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式		正答率(%)		無解答率(%)		市と国との正答率の差		
			数と計算	量と測定	図形	数量関係	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	「知識」に関する問題	「活用」に関する問題	選択式	短答式	記述式	岡山市教育委員会		全国(公立)	岡山市教育委員会
1(1)	長方形を直線で切ってきた図形の中から、台形を選ぶ	台形について理解している			4(1)アイ										93.3	93.1	0.1	0.1	-5.0 ▼ +5.0
1(2)	二つの合同な台形を、ずらしたり、回したり、裏返したりして、同じ長さの辺どうしを合わせてつくることのできる形を選ぶ	図形の性質や構成要素に着目し、ほかの図形を構成することができる			4(1)イ 5(1)イ										60.3	60.3	0.5	0.6	0.0
1(3)	減法の式が、示された形の面積をどのように求めているのかを、数や演算の表す内容に着目して書く	示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述できる			5(1)ア										44.6	43.9	6.2	6.7	0.7
2(1)	1980年から2010年までの、10年ごとの市全体の水の使用量について、棒グラフからわかることを選ぶ	棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ることができる			3(3)ア										95.0	95.2	0.3	0.2	-0.2
2(2)	2010年の市全体の水の使用量が1980年の市全体の水の使用量の約何倍かを、棒グラフから読み取りを書く	2010年の市全体の水の使用量が1980年の市全体の水の使用量の何倍か読み取ることができる			4(3)イ										76.4	78.6	0.9	1.0	-2.2
2(3)	二つの棒グラフから、一人当たりの水の使用量についてわかることを選び、選んだわけを書く	資料の特徴や傾向を関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述できる			5(4)ア										52.2	52.1	1.7	2.0	0.1
2(4)	洗顔と歯みがきで使う水の量を求めるために、 $6 + 0.5 \times 2$ を計算する	加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができる			4(5)ウ										58.2	60.1	0.9	1.0	-1.9
3(1)	$350 - 97$ について、引く数の97を100にした式にして計算するとき、ふさわしい数値の組み合わせを書く	示された減法に関して成り立つ性質を基にした計算の仕方を解釈し、適用することができる			3(2)イウ										81.3	81.8	1.2	0.9	-0.5
3(2)	減法の計算の仕方についてまとめたことを基に、除法の計算の仕方についてまとめたこと、どのようになるのかを書く	示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述できる			3(2)ウ 4(3)エ										32.4	31.1	10.4	10.8	1.3
3(3)	被除数と除数にかけると割る数を選び、 $600 \div 15$ を計算しやすい式にして計算する	示された計算の仕方を解釈し、かける数や割る数を選び、計算しやすい式にして計算できる			4(3)イエ										73.9	74.9	2.4	2.1	-1.0
3(4)	$1800 \div 6$ は、何m分の代金を求めている式といえるのかを選ぶ	示された除法の式の意味を理解している			5(3)アイ ア										44.1	47.0	3.1	2.2	-2.9
4(1)	だいたい何分後に乗り物券を買う順番がくるのかを知るために、調べが必要のある事柄を選ぶ	目的に適した件によって変わる二つの数量を見いだすことができる			4(1)										82.8	82.7	2.3	1.7	0.1
4(2)	何秒後にゴンドラに乗ることができるのかを求め式を書く	示された場面において、複数の数量から必要な数量を選び、立式することができる			3(3)イ										68.0	68.6	5.1	4.4	-0.6
4(3)	残り7ボール分進むのにかかる時間の求め方と答えを記述し、24分以内レジに着くことができるかどうかを判断する	場面の状況から、単位量当たりの大きさを基に、求め方と答えを記述し、その結果から判断できる			5(4)ア										61.3	62.6	4.1	3.5	-1.3

※過年度からの継続的な分析に資するため、参考として付すもの。

無解答率

2.8 2.7